

グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第14期 (決算日 2024年1月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)」は、2024年1月22日に第14期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2017年1月23日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円 (1万口当たり) を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<643365>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分	み 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
10期(2022年1月20日)	10,095	400	3.5	214.21	2.8	92.1	19,665
11期(2022年7月20日)	8,253	0	△18.2	167.82	△21.7	97.9	15,509
12期(2023年1月20日)	8,393	0	1.7	172.45	2.8	96.7	14,564
13期(2023年7月20日)	10,140	0	20.8	205.64	19.2	96.2	15,647
14期(2024年1月22日)	10,286	350	4.9	188.64	△8.3	100.0	13,892

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2024年1月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2023年7月20日	円	%		%	%
	10,140	—	205.64	—	96.2
7月末	10,129	△0.1	202.98	△1.3	98.3
8月末	9,769	△3.7	189.19	△8.0	97.7
9月末	9,282	△8.5	175.76	△14.5	97.1
10月末	8,753	△13.7	160.09	△22.2	97.1
11月末	9,885	△2.5	180.56	△12.2	95.6
12月末	10,469	3.2	195.19	△5.1	98.2
(期末) 2024年1月22日	円	%		%	%
	10,636	4.9	188.64	△8.3	100.0

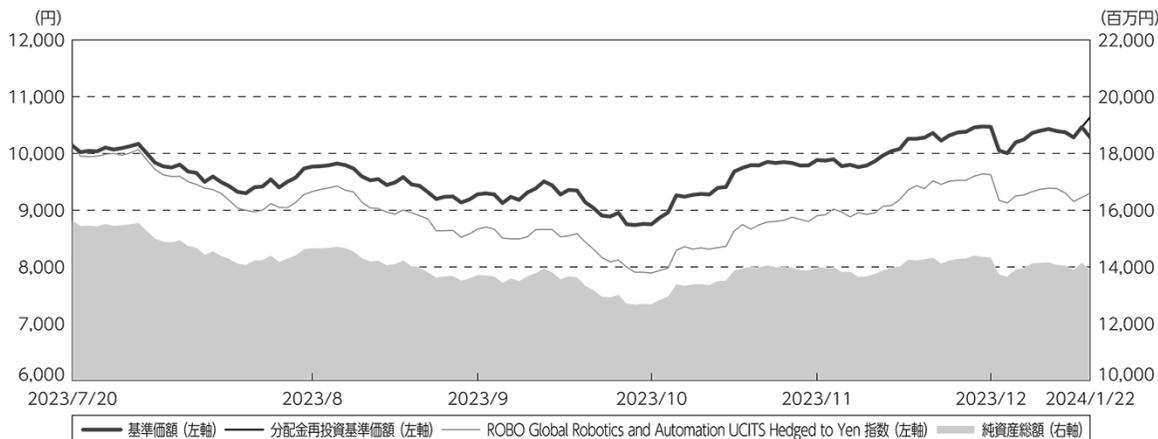
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2023年7月21日～2024年1月22日）

期中の基準価額等の推移



期首：10,140円

期末：10,286円（既払分配金（税込み）：350円）

騰落率：4.9%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は、期首（2023年7月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・生成AI強化のための需要増加と、その利用に対する成長期待の高まりなどから、半導体およびソフトウェア産業の生成AI関連銘柄を中心に、ロボティクス関連銘柄が全体的に堅調に推移したこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が、金融引き締め策の終了に加え2024年中の下下げを示唆したことなどを受け、期間末にかけて世界的に金利が低下したことにより、株式市場が全体的に上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・期間の前半、堅調な雇用環境などを背景に米国の長期金利が上昇したことや、FRBによる金融引き締め策が長期化するとの観測に加え、中東情勢などをはじめとする地政学的リスクが意識され、株式市場の下落要因となったこと。
- ・長期金利上昇の動きが米国だけでなく欧州各国に波及したことにより、相対的に割高感が意識されたハイテク株が低調となったこと。

投資環境

（株式市況）

当期間の世界の株式市場は、欧米主要国におけるインフレ動向と、米国を中心とした各国の中央銀行の金融政策といったマクロ要因に大きく左右される展開となりました。2023年8月には米国国債格下げや、米国の長期金利上昇に加え、中国景気後退懸念などから、また9月には米国の金融引き締め策の長期化や米国政府機関の閉鎖に対する懸念、中国不動産関連企業の債務再編の不透明感の浮上などから、そして10月は欧米各国で利上げ打ち止め観測が台頭するも、中東情勢の緊迫化などから株式市場は総じて軟調な展開が続きました。しかし、11月に入ると地政学的リスクに対する懸念は依然として継続しているものの、FRBの利上げ局面が終了したとの見方を受け長期金利が大幅に低下したことなどから株式市場は反発しました。以降も世界的に利上げ懸念が後退したことや、米国をはじめとして利下げ開始時期が意識され始めたことなどを受け、株式市場は底堅く推移しました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、期間前半は厳しい推移となったものの、後半は世界株式市場に比べて堅調に推移しました。マクロ要因として、欧米主要国での金利上昇はマイナス要因となったものの、生成AI強化のための需要増加と、その利用に対する成長期待の高まりなどから、半導体およびソフトウェア産業の生成AI関連銘柄を中心に、ロボティクス関連銘柄が全体的に堅調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円で為替ヘッジを行ないました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

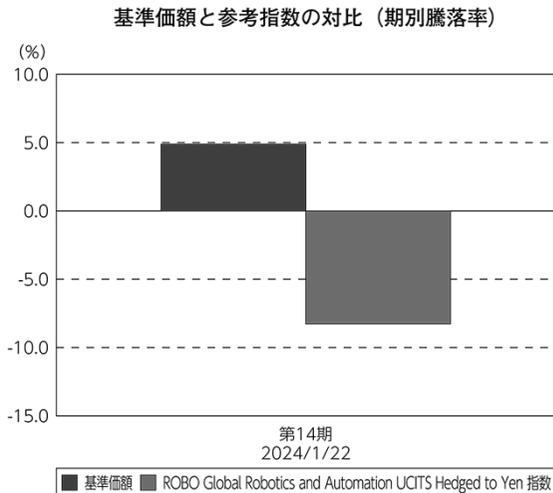
ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行ないました。

当期間は引き続き情報技術セクター、資本財・サービスセクターなどを中心に、物価が高止まりする中にもあっても、これを価格に転嫁することや、景気のスローダウンがあったとしてもダウンサイドの抑制が可能な強固な財務体質を持つと見込まれる銘柄を厳選し投資しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第14期
	2023年7月21日～ 2024年1月22日
当期分配金	350
（対基準価額比率）	3.291%
当期の収益	272
当期の収益以外	77
翌期繰越分配対象額	286

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

欧米ではインフレ沈静化の兆しが出てきており、市場の関心は利下げ開始時期に移っています。一方で景気のスローダウンを感じさせるデータも見られ、高い金利水準が長期に渡り維持されることによる今後の景気への影響について引き続き注視すべきと考えます。また2024年は、台湾総統選挙に始まり、日本の自民党総裁選挙、米国大統領選挙と相場を左右するような要因が多く控えています。一方で生成AIを活用した新技術の本格的な活用が、多様な産業において生産性をどの程度向上させるのかや、新技術による世界の変化などにより注目しています。将来有望な技術を持つ企業の本源的価値は研究開発投資や設備投資により上昇しているとの考えは変わりません。物価高、人手不足、脱炭素化社会への移行、地政学的リスクの高まりなど、増加する社会課題に対応を余儀なくされている世界において、それを解決および緩和できる新しいテクノロジーの価値は上昇しているとの考えに確信を強めています。

ロボティクスにとって、一層のデータ活用、サプライチェーン（供給網）の見直し、賃金インフレ、CO₂削減などの動きは自動化・自律化の新たな追い風になっています。多くの技術が社会課題の解決に求められる可能性を秘めており、中長期的に投資対象であるロボティクス関連銘柄の魅力は非常に高いと考えます。引き続き短期的な株価変動はむしろチャンスと捉え、バリュエーション（価値評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年7月21日～2024年1月22日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	96	0.984	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(46)	(0.475)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(46)	(0.475)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.034)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(1)	(0.005)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.019	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(1)	(0.010)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	99	1.009	
期中の平均基準価額は、9,714円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

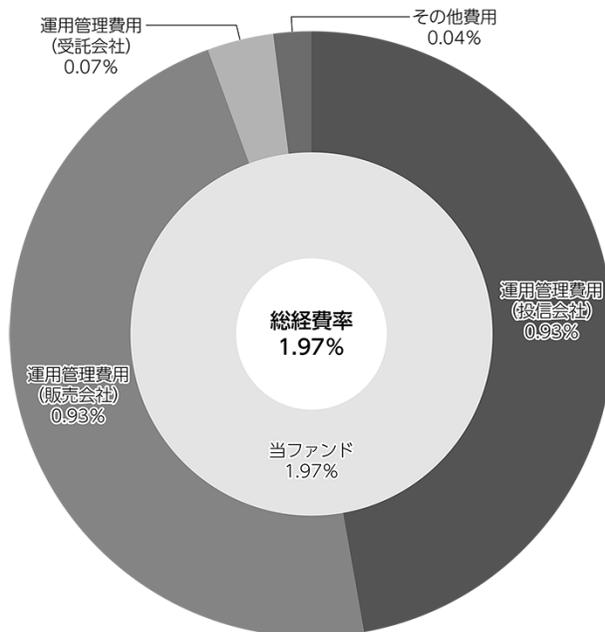
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年7月21日～2024年1月22日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千口 94,644	千円 367,788	千口 874,354	千円 3,186,172

○株式売買比率

（2023年7月21日～2024年1月22日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	198,204,865千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	782,010,318千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.25

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

（2023年7月21日～2024年1月22日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年7月21日～2024年1月22日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年7月21日～2024年1月22日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年1月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	4,258,190	3,478,481	14,251,685

(注) 親投資信託の2024年1月22日現在の受益権総口数は、206,922,179千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	14,251,685	94.8
コール・ローン等、その他	776,832	5.2
投資信託財産総額	15,028,517	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・ロボティクス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（659,767,649千円）の投資信託財産総額（885,529,296千円）に対する比率は74.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=148.20円、1ユーロ=161.52円、1スイスフラン=170.68円、1スウェーデンクローナ=14.16円、1ノルウェークローネ=14.14円、1新台幣ドル=4.7174円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年1月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	25,847,925,572
コール・ローン等	299,954,929
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド(評価額)	14,251,685,074
未収入金	11,296,285,569
(B) 負債	11,955,433,383
未払金	11,302,550,045
未払収益分配金	472,714,225
未払解約金	38,232,494
未払信託報酬	138,657,835
未払利息	90
その他未払費用	3,278,694
(C) 純資産総額(A-B)	13,892,492,189
元本	13,506,120,727
次期繰越損益金	386,371,462
(D) 受益権総口数	13,506,120,727口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,286円

(注) 当ファンドの期首元本額は15,430,976,458円、期中追加設定元本額は136,676,750円、期中一部解約元本額は2,061,532,481円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0286円です。

○損益の状況（2023年7月21日～2024年1月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 23,114
受取利息	162
支払利息	△ 23,276
(B) 有価証券売買損益	812,888,327
売買益	2,232,489,470
売買損	△1,419,601,143
(C) 信託報酬等	△ 140,498,044
(D) 当期損益金(A+B+C)	672,367,169
(E) 前期繰越損益金	182,412,589
(F) 追加信託差損益金	4,305,929
(配当等相当額)	(3,246,251)
(売買損益相当額)	(1,059,678)
(G) 計(D+E+F)	859,085,687
(H) 収益分配金	△ 472,714,225
次期繰越損益金(G+H)	386,371,462
追加信託差損益金	4,305,929
(配当等相当額)	(3,317,791)
(売買損益相当額)	(988,138)
分配準備積立金	382,065,533

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年7月21日～2024年1月22日の期間に当ファンドが負担した費用は24,063,519円です。

(注) 分配金の計算過程（2023年7月21日～2024年1月22日）は以下の通りです。

項 目	2023年7月21日～ 2024年1月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	38,732,001円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	633,635,168円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,305,929円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	182,412,589円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	859,085,687円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	636円
g. 分配金	472,714,225円
h. 分配金(1万口当たり)	350円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	350円
-----------------	------

○お知らせ

約款変更について

2023年7月21日から2024年1月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第21条、第22条、第23条、第28条）
- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年10月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第4条、第57条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日 2023年7月20日）
（2022年7月21日～2023年7月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638110>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
	円	%		%	%	百万円
4期(2019年7月22日)	15,599	0.5	150.22	△ 8.9	96.5	816,685
5期(2020年7月20日)	19,418	24.5	179.16	19.3	95.9	667,087
6期(2021年7月20日)	27,053	39.3	255.83	42.8	98.0	729,909
7期(2022年7月20日)	27,195	0.5	242.71	△ 5.1	97.2	730,500
8期(2023年7月20日)	36,253	33.3	315.29	29.9	97.6	790,763

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2023年7月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2022年7月20日	円	%		%	%
	27,195	—	242.71	—	97.2
7月末	27,959	2.8	250.88	3.4	97.8
8月末	27,134	△ 0.2	245.80	1.3	98.4
9月末	25,259	△ 7.1	225.57	△ 7.1	97.5
10月末	27,887	2.5	245.40	1.1	98.0
11月末	28,217	3.8	246.00	1.4	98.2
12月末	26,323	△ 3.2	231.12	△ 4.8	97.4
2023年1月末	28,618	5.2	256.56	5.7	97.9
2月末	30,118	10.7	268.55	10.6	97.9
3月末	31,067	14.2	270.00	11.2	97.3
4月末	30,508	12.2	267.07	10.0	97.8
5月末	33,957	24.9	290.83	19.8	97.4
6月末	36,416	33.9	315.09	29.8	97.4
(期末) 2023年7月20日	36,253	33.3	315.29	29.9	97.6

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年7月21日～2023年7月20日)

基準価額の推移

期間の初め27,195円の基準価額は、期間末に36,253円となり、騰落率は+33.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

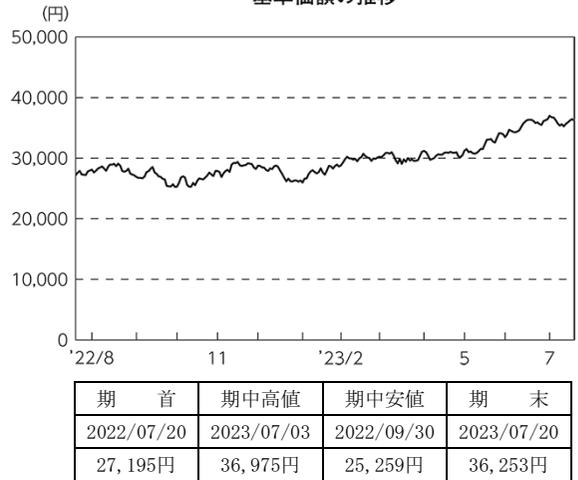
<値上がり要因>

- ・ AI（人工知能）ブームを背景に半導体に対する需要が強まるとの見通しを受けて、FA（ファクトリー・オートメーション）関連や半導体関連、電子部品関連などの銘柄を中心に、ロボティクス関連銘柄が相対的に堅調に推移したこと。
- ・ コロナ禍で先送りされていた手術などの正常化に伴い、一部の医療関連銘柄の株価が上昇したこと。

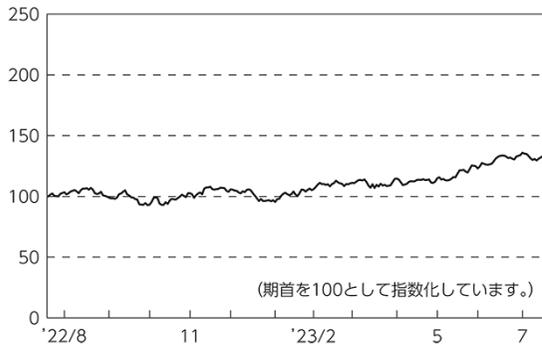
<値下がり要因>

- ・ インフレが高止まりするなか、欧米の中央銀行が景気よりもインフレ抑制に重点を置く姿勢を明確にしたことを受け、グロース株を中心に株価が軟調に推移したこと。
- ・ 2023年3月にかけて、米国の銀行破綻が相ついだことや欧州の銀行の経営危機などを受けて、金融システムに対する不安が強まり株式市場に下落圧力がかったこと。

基準価額の推移



基準価額（指数化）の推移



ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（指数化）の推移



(株式市況)

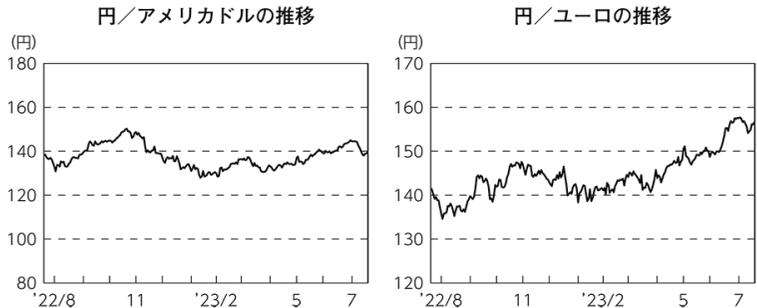
世界の株式市場は、2022年9月にかけてインフレが高止まりするなか、欧米の中央銀行が景気の下支えよりもインフレ抑制に重点を置く姿勢を明確にしたことなどを受け下落しました。しかし、10月以降は欧米の中央銀行による今後の利上げ幅が縮小するとの見方が広がったことに加え、10月および11月の米国の消費者物価指数（CPI）に鈍化がみられたことなどから全体的に反発しました。

2023年の世界の株式市場は、欧米主要国におけるインフレ動向と、各国中央銀行の金融引き締めといったマクロ要因に大きく左右される展開となりました。3月に入ると米国の銀行破綻が相ついでことや欧州の銀行の経営危機などを受けて、金融システムに対する不安が強まり市場は混乱したものの、その後の金融当局による対応もあって落ち着きを取り戻しました。4月以降は米国のインフレ率が鈍化傾向を示し、米国連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ打ち止めが近いとの見方から底堅く推移しました。6月の米国連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送りとなったことも市場を後押しする要因になったほか、AIブームを背景に半導体に対する需要が強まるとの見通しを受けて、半導体関連を中心にテクノロジー関連セクターが牽引する形で世界の株式市場は期末にかけて概ね上昇基調が継続しました。

ロボティクス関連銘柄の株価は世界の株式市場に比べて堅調に推移しました。金利上昇による成長株のバリュエーション（株価評価）調整はマイナスに働いたものの、AIブームを背景に半導体に対する需要が強まるとの見通しを受けて、FA関連や半導体関連、電子部品関連などの銘柄を中心に、ロボティクス関連銘柄は相対的に堅調に推移しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

ボトムアップアプローチを重視し、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行ないました。

当期間は引き続き情報技術セクター、資本財・サービスセクターなどを中心に、物価が高止まりするなかであって、これを価格に転嫁すること、また、仮に景気後退に陥ってもダウンサイドに備えることが可能と考える銘柄を厳選し、投資しました。また、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄から、中長期の期待は高いものの足元の業績が軟調で株価が下落した銘柄への入替えなども行ないました。

○今後の運用方針

米国で利上げが一時的に見送られたものの、政策金利の見通しについて2023年内に2回程度の追加利上げが想定される内容となったことを受けて、年の後半から2024年にかけての景気後退懸念が引き続き大きな関心事となっています。一方で生成AIを始めとする今後の世界を大きく変える技術進化がもたらす中長期の成長性については、まだまだ議論が尽くされておらず、今後ますます注目が集まっていくものと考えています。将来有望な技術を持つ企業の本源的価値は研究開発投資や設備投資により上昇しているとの考えは変わりません。現在の不便で非効率になりつつある世界において、そういった問題を解決もしくは緩和できる新しいテクノロジーの価値は上昇しているとの考えに確信を強めています。

ロボティクスにとって、一層のデータ活用、サプライチェーン（供給網）見直し、賃金インフレ、CO2削減などの動きは、自動化・自律化の新たな追い風になっています。多くの技術が社会課題の解決のために求められていく可能性を秘めており、中長期的に当ファンドの投資対象であるロボティクス関連銘柄の魅力は非常に高いと考えます。引き続き短期的な株価変動はむしろチャンスと捉え、バリュエーションを重視した運用を今後も継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年7月21日～2023年7月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.008 (0.008)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.021	
期中の平均基準価額は、29,455円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月21日～2023年7月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		—	—	5,326	37,973,341
		(8,449)	(—)		
外 国	アメリカ	百株 18,159 (—)	千アメリカドル 201,944 (△ 442)	百株 53,429	千アメリカドル 842,865
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	5,297	28,605
	フランス	—	—	7,008	72,571
	オランダ	—	—	107	6,872
	スイス	— (4,093)	千スイスフラン — (—)	26,038	千スイスフラン 76,350
	スウェーデン	—	千スウェーデンクローナ —	9,532	千スウェーデンクローナ 113,197
	ノルウェー	—	千ノルウェークローネ —	8,156	千ノルウェークローネ 19,690
台湾	22,470	千新台幣ドル 1,675,968	8,210	千新台幣ドル 542,834	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年7月21日～2023年7月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	223,567,347千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	722,195,443千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月21日～2023年7月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年7月21日～2023年7月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年7月20日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
機械 (36.8%)				
ディスコ	349.4	936.5	21,637,832	
SMC	227.3	203.3	15,192,609	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	1,200.3	1,147.4	4,687,129	
ダイフク	2,148.8	5,766.3	16,947,155	
THK	5,293.1	3,980.9	11,218,176	
電気機器 (56.4%)				
日立製作所	2,080.6	1,861.2	16,493,954	
安川電機	2,013.653	1,801.253	11,149,756	
ソニーグループ	978.9	875.8	11,451,085	
キーエンス	516.1	461.6	30,705,632	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
ファナック	723.6	2,451.9	11,572,968	
村田製作所	1,346.6	1,204.6	9,915,062	
東京エレクトロン	347.2	748.7	15,310,915	
輸送用機器 (6.8%)				
デンソー	1,506.6	1,347.6	12,837,237	
情報・通信業 (一%)				
ソフトバンクグループ	932	—	—	
合 計	株 数・金 額	19,664	22,787	189,119,513
	銘柄数<比率>	14	13	<23.9%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額 千アメリカドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
DEERE & CO	2,246	—	—	—	資本財	
APTIV PLC	5,410	4,839	53,419	7,462,751	自動車・自動車部品	
EATON CORP PLC	8,910	5,648	118,511	16,556,070	資本財	
MEDTRONIC PLC	6,787	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
MICRON TECHNOLOGY INC	—	7,771	50,481	7,052,331	半導体・半導体製造装置	
PARKER HANNIFIN CORP	4,722	2,191	88,474	12,359,837	資本財	
IQVIA HOLDINGS INC	3,660	3,274	73,836	10,314,906	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROCKWELL AUTOMATION INC	6,851	6,129	210,843	29,454,781	資本財	
STRYKER CORP	4,034	3,609	106,290	14,848,823	ヘルスケア機器・サービス	
TERADYNE INC	5,317	4,756	54,845	7,661,847	半導体・半導体製造装置	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,781	2,488	133,263	18,616,847	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TE CONNECTIVITY LTD	3,950	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
UIPATH INC - CLASS A	10,153	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
AMAZON.COM INC	5,958	5,329	72,142	10,078,238	一般消費財・サービス流通・小売り	
ANALOG DEVICES INC	7,014	6,274	122,852	17,162,446	半導体・半導体製造装置	
ANSYS INC	3,067	2,744	95,723	13,372,584	ソフトウェア・サービス	
APPLIED MATERIALS INC	10,467	7,886	111,811	15,620,051	半導体・半導体製造装置	
ASPEN TECHNOLOGY INC	3,807	3,405	60,836	8,498,843	ソフトウェア・サービス	
AUTODESK INC	3,839	3,434	75,233	10,510,114	ソフトウェア・サービス	
COGNEX CORP	14,835	13,271	77,743	10,860,719	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ALPHABET INC-CL C	603	10,794	132,528	18,514,281	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL C(N)	11,463	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC	7,484	5,934	207,532	28,992,305	ヘルスケア機器・サービス	
IPG PHOTONICS CORP	10,417	9,318	125,501	17,532,548	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROSOFT CORP	—	3,197	113,524	15,859,358	ソフトウェア・サービス	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	12,210	10,922	100,190	13,996,579	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	8,624	4,678	220,267	30,771,322	半導体・半導体製造装置	
NXP SEMICONDUCTORS NV	3,954	3,537	77,925	10,886,235	半導体・半導体製造装置	
PTC INC	5,311	4,751	69,669	9,732,896	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	6,181	5,529	68,799	9,611,277	半導体・半導体製造装置	
SPLUNK INC	3,888	3,478	37,803	5,281,114	ソフトウェア・サービス	
SYNOPSYS INC	2,590	2,317	105,980	14,805,509	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	8,488	12,262	65,813	9,194,143	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	2,582	2,995	95,377	13,324,206	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	424	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数 ・ 金 額	198,044	162,773	2,927,222	408,932,974	
	銘柄 数 < 比 率 >	33	29	—	< 51.7% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
INFINEON TECHNOLOGIES AG	42,665	38,165	142,740	22,371,648	半導体・半導体製造装置	
SIEMENS AG-REG	7,565	6,767	100,467	15,746,338	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	50,230	44,933	243,207	38,117,987	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 4.8% >	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	29,113	26,042	107,726	16,883,960	ソフトウェア・サービス	
SCHNEIDER ELECTRIC SE	14,130	10,192	160,900	25,217,941	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	43,243	36,235	268,626	42,101,902	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 5.3% >	

銘柄	株数	当 期		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
(ユーロ…オランダ) ASML HOLDING NV	百株 1,015	百株 908	千ユーロ 59,228	千円 9,282,863	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,015 1	908 1	59,228 —	9,282,863 <1.2%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	94,489 5	82,077 5	571,063 —	89,502,753 <11.3%>
(スイス) ABB LTD-REG	81,872	59,927	千スイスフラン 200,456	32,658,430	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	81,872 1	59,927 1	200,456 —	32,658,430 <4.1%>
(スウェーデン) HEXAGON AB-B SHS	90,381	80,849	千スウェーデンクローナ 915,217	12,474,417	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	90,381 1	80,849 1	915,217 —	12,474,417 <1.6%>
(ノルウェー) AUTOSTORE HOLDINGS LTD	204,607	196,450	千ノルウェークローネ 487,000	6,788,784	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	204,607 1	196,450 1	487,000 —	6,788,784 <0.9%>
(台湾) AIRTAC INTERNATIONAL GROUP TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	31,903 51,770	37,343 60,590	千新台幣ドル 3,588,685 3,520,279	16,118,221 15,810,981	資本財 半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	83,673 2	97,933 2	7,108,964 —	31,929,202 <4.0%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	753,068 43	680,011 39	— —	582,286,561 <73.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 771,406,075	% 93.2
コール・ローン等、その他	56,112,422	6.8
投資信託財産総額	827,518,497	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(622,879,410千円)の投資信託財産総額(827,518,497千円)に対する比率は75.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=139.70円、1ユーロ=156.73円、1スイスフラン=162.92円、1スウェーデンクローナ=13.63円、1ノルウェークローネ=13.94円、1新台幣ドル=4.4914円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	854,018,497,112	
コール・ローン等	18,599,676,469	
株式(評価額)	771,406,075,064	
未収入金	63,869,608,542	
未収配当金	143,137,037	
(B) 負債	63,254,985,701	
未払金	26,505,009,595	
未払解約金	36,749,967,175	
未払利息	8,931	
(C) 純資産総額(A-B)	790,763,511,411	
元本	218,121,866,371	
次期繰越損益金	572,641,645,040	
(D) 受益権総口数	218,121,866,371口	
1口当たり基準価額(C/D)	36,253円	

(注) 当ファンドの期首元本額は268,612,176,627円、期中追加設定元本額は955,093,096円、期中一部解約元本額は51,445,403,352円です。

(注) 2023年7月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型) 108,798,737,467円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型) 100,054,501,439円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型) 4,500,104,374円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型) 4,258,190,630円
- ・グローバル・メガピース 510,332,461円

(注) 1口当たり純資産額は3,6253円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年7月21日から2023年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

○損益の状況 (2022年7月21日～2023年7月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	8,291,852,827	
受取配当金	8,288,304,207	
受取利息	3,825	
その他収益金	4,208,851	
支払利息	△ 664,056	
(B) 有価証券売買損益	211,868,633,382	
売買益	222,191,526,047	
売買損	△ 10,322,892,665	
(C) 保管費用等	△ 88,049,796	
(D) 当期損益金(A+B+C)	220,072,436,413	
(E) 前期繰越損益金	461,888,070,488	
(F) 追加信託差損益金	1,739,966,959	
(G) 解約差損益金	△111,058,828,820	
(H) 計(D+E+F+G)	572,641,645,040	
次期繰越損益金(H)	572,641,645,040	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。